

JSBC2021

(Japan Steel Bridge Competition 2021)

大会実施要綱

2021.8.27 版

開催日時：2021年9月2日（木）～9月3日（金）

場所：オンライン開催（名古屋工業大学）

1. 全体事項

1.1 主要スケジュール

| 期日 | 時間(帯) | 実施内容 |
|----------------|---|---|
| 8月25日 | 13:00~16:00 | キャプテンミーティング(オンライン開催) ※参加チームのオンライン接続環境の確認や9月3日午前中のチーム紹介時の進行役調整なども行う。 |
| 8月30日 | 9:00 | 「架設競技」, 「美観」, 「プレゼンテーション」 の動画のアップロード期限, 架設結果の入力期限 |
| 8月30日~ 9月3日 | 期間中終日 | 架設競技, 美観, プレゼン記録動画の YouTube 動画視聴期間 |
| 9月2日 | 10:00~12:30 (1H 休憩) 14:00~15:00 | 開会式→载荷位置に関するサイコロ振り→载荷位置決定 グループ毎に载荷開始(载荷の様子はライブ中継する.) 昼食休憩(1H) グループ毎に「プレゼンテーション」の動画紹介と動画に関する 質疑応答(オンライン) |
| 9月3日 | 9:00~12:00 13:00~15:00 | 審査員は9:00までに競技結果の入力を完了させる。 参加学生による各チーム紹介&学校紹介(オンライン) 特別講演(13:00~14:00) 競技結果の発表と表彰→閉会式 |

【留意事項】

- ・ 競技内容に関する細則は、ルールブック JSBC2021 年版に従います。
- ・ 架設競技, 美観競技およびプレゼンテーションは全て参加チーム毎に各大学で実施し, 実施記録を動画で撮影いただきます。载荷競技は9月2日に競技をライブ中継していただきます。
- ・ 各競技の動画記録のうち「架設競技」, 「美観競技」および「プレゼンテーション」は, 8月30日(月)~9月1日(水)の3日間に, YouTube で動画を限定公開出来るよう準備ください。なお, 美観競技での橋は, 架設競技後の橋を使った橋の撮影である必要はありません。
- ・ 「プレゼンテーション」は上記の事前公開期間を経た後, 9月2日にリアルタイムに質疑応答を交えて実施します。Zoom 上で各チームリーダー(発表者)が, 収録したプレゼン動画を「画面共有」し, その共有された内容について, 審査員とリアルタイムに質疑応答します。その結果をもとにプレゼン競技ポイントが評価されます。
- ・ 9月3日の午前中に学生主体のチーム紹介や大学紹介をオンラインで実施します。

1.2 競技順序・Zoom チーム識別番号

表-1 Zoom チーム識別番号 (競技順序※)

| グループ \ 番号 | 1 | 2 | 3 | 4 |
|---|---------------------|-----------------------|-----------------|-------------------|
| 【A】 進行：鈴木啓悟 P 審査：北村明彦 (橋建協) | 大阪市立大学 1 審判：山口隆司 | ものづくり大学 1 審判：大垣賀津雄 | 熊本大学 審判：松村政秀 | 岐阜大学 1 審判：木下幸治 |
| 【B】 進行：木下幸治 P 審査：大野豊繁 (橋建協) | 京都大学 審判：杉浦邦征 | 日本大学 1 審判：谷口 望 | 鳥取大学 審判：小野祐輔 | 福井大学 審判：鈴木啓悟 |
| 【C】 進行：谷口 望 P 審査：松原秀和 (鉄連) | 熊本高専 審判：岩坪 要 | 名古屋工業大学 審判：永田和寿 | 九州大学 審判：技術員 | 愛知工業大学 審判：鈴木森晶 |
| 【D】 進行：竹谷晃一 P 審査：栗原康行 (鉄連) | 山口大学 審判：蓮池里菜 | ものづくり大学 2 審判：大垣賀津雄 | 岩手大学 審判：大西弘志 | 名城大学 審判：小塩達也 |
| 【E】 進行：大垣賀津雄 P 審査：飯田哲也 (SGST) | 大阪市立大学 2 審判：山口隆司 | 日本大学 2 審判：谷口 望 | 富山大学 審判：鈴木康夫 | 岐阜大学 2 審判：木下幸治 |

敬称略

※競技順序

・ 載荷競技 (9月2日 10:20~12:30)

A グループ (1 番~4 番の 4 チーム) から同時に開始し, 約 20 分で競技を完了させる. 20 分@ 5 グループ=合計 100 分程度で全チームの載荷完了. なお, 表中の「進行」担当者は載荷競技の進行を担当します. なお, 進行担当は Zoom 共同ホストとなります.

・ プレゼン審査 (9月2日 14:00~15:00)

A~E グループ, それぞれ 5 つのブレイクアウトルームに分散して, 1 番から順次審査, 1 チームあたり 10 分の審査@4 チーム=40 分でプレゼン審査完了. 表中の「進行」は載荷競技の進行とプレゼン審査の座長 (審査員も兼ねる) を担当します. 「P 審査」は, プレゼンテーションの審査を担当します (載荷競技の審査はありません).

1.3 Zoom 参加デバイス名のルール

- Zoom 参加名称は、表-1 と参加者属性により以下のように区別します。

チームリーダー : 記号+番号+責+@大学・高専名 例) A1 責@大阪市立大学 1

競技モニタ用 : 記号+番号+モ+@大学・高専名 例) A1 モ@大阪市立大学 1

一般参加者 : 氏名+@所属機関名 例) 橋造太郎@ブリコン大学

実行委員会関係者 : Z+氏名@所属機関名 例) Z 渡辺@名城大学

注意) 記号番号は「半角英数」で入力してください。同一カテゴリに複数名が参加する場合は、数字で区別してください。例) A1 責 2@大阪市立大学 1

これらの名称の区別は、Zoom 画面の表示順序について、ホストのハンドリングを容易にするためのものです。参加者それぞれの画面上の並びは、デバイス毎に好みの順序に並び替えることが出来ます。

大会当日の参加者数により、別の表記名に変更をお願いする場合があります。

1.4 収録動画のアップロードおよび、各審査結果の入力

- チームリーダー（教員も可）は、収録した動画のリンク先情報をブリコン HP の専用ページからアップロードしてください。
- 審査員は、架設競技・载荷競技・プレゼン投票に関する結果を、ブリコン HP の審査員専用ページに記載の専用入力フォームより入力してください。認証パスワードはメール等により別途通知します。美観投票は、1チーム1名のチームリーダーによる投票権利があります。投票時の入力サイト先情報は指導教員から入手してください。

2. スケジュール

【8月25日（水）】13：00～キャプテンミーティング

- ✓ チームキャプテンは、Zoom ミーティングに参加してください。ミーティング接続のデバイスは、1つのチームにつき2台以内とします。実行委員会、ルール統括部会、競技部会メンバー（教員）の接続は制限しません。

【Zoom 会議】ミーティング ID とパスコード: セキュリティの関係によりメールで連絡します

| 時刻 | キャプテンミーティングの主要スケジュール | ルール統括部会・競技部会 | チームリーダー |
|-------|---|------------------------|----------------|
| 13：00 | 12：50頃～Zoom ミーティング 入室開始 進行：渡辺先生(競技部会長) 【参加者】 ・各チームのチームリーダー ・実行委員会：鈴木森晶先生（委員長），委員 ・ルール統括部会：鈴木啓悟先生（部会長），部会員 ・競技部会：渡辺先生(部会長)，部会員 | 競技に関する回答や架設方法の合意確認を行う。 | 競技に関する質問などを行う。 |
| 16：00 | ミーティングの進行により終了時刻は前後します。 | | |
| | | | |

<ミーティング参加時の留意事項>

- ・ルールブックの最新版を熟読の上参加してください。
- ・言葉による意思疎通が困難な場合に備え、説明用の PPT 等、他者が理解し易い資料を準備いただくことで画像共有により審議することも可能です。

【ミーティング終了後～8月30日（月）9：00まで】架設競技実施・架設動画と美観動画、プレゼンのアップロードと架設ポイント申請

- ✓ チーム毎に審判（教員）立ち合いのもとで架設競技を行い、審判は架設競技後のポイント集計してください。審判は架設ポイントを HP の Google Form に入力してください。チームリーダーは、架設動画および完成した橋梁の美観をビデオ収録してください。収録した動画は架設競技と美観、プレゼンテーションに分け、HP のリンクから限定公開設定として YouTube にアップロードしてください。

フォーム集計後、HP にて全チームの YouTube 動画の URL を通知します。

【9月2日（木）10：00～】オンライン大会1日目（午前）

- ✓ 载荷の準備，競技者の装具と配置，計測機器の**オンライン確認準備**を済ませた状態で，Zoom 接続してください。
- ✓ チームキャプテンは， Zoom ミーティングに参加してください。ミーティング接続のデバイス数は，1つのチームにつき少なくとも2台の接続デバイスを準備ください。
- ✓ 競技状況モニター用として参加させるデバイスのカメラは， 载荷状況全体が見渡せる画角に固定してください。

【Zoom 会議】 ミーティング ID とパスコード: セキュリティの関係によりメールで連絡します

| 時刻 | 载荷競技 | Zoom 参加デバイスと基本設定 | | | |
|-------|---|------------------|-----------------------------|---------------------|-----------------------|
| | | 運営 | チームリーダー | 競技モニター | 一般参加者 |
| 10:00 | 司会進行：名古屋工業大学 永田和寿先生 開会挨拶 JSBC2021 実行委員会委員長 愛知工業大学 鈴木森晶先生 後援挨拶 日本鉄鋼連盟土木委員会幹事会幹事 J F E スチール 松原秀和様 選手宣誓 前回大会優勝 岐阜大学・学部3年 大野洋嵩さん 注意事項等の説明 各担当 载荷位置決め 名古屋工業大学 永田和寿先生 | 音声：ON ビデオ：ON | 音声：ミュート ビデオ：OFF | 音声：ミュート ビデオ：OFF | 音声：ミュート ビデオ：OFF |
| 10：20 | 競技の説明（競技部会 渡辺先生） 载荷競技開始 表-1のグループの通りAからEグループまで各4 チーム同時に载荷を行う。1グループについて，20 分で競技を完了させる。 （詳細は次ページ） | 音声：ON ビデオ：OFF | ※実橋中継する 音声：ON ビデオ：OFF | 音声：ON/OFF ビデオ：ON | 音声：ミュート ビデオ：ON/OFF |

| 時刻 | 载荷競技 | Zoom 参加デバイスと基本設定 | | | |
|----------------------------|---|--|--|---|--------------------------------|
| | | 運営 | チームリーダー | 競技モニタ | 一般参加者 |
| 1グループ 20分 × 5グループ | 1番のチームリーダーから4番まで順次、自分のチームの载荷版と载荷予定の錘の総重量、たわみ計測位置について（出来る限り）カメラでライブ撮影しながら、2分程度で説明後、実行委員会の号令まで待機ください。次のチームも同様な説明を行い、4チームが全て载荷スタンバイとなったら、競技部会の号令で同時に载荷を行います。载荷は号令から10分以内で完了してください。この競技を5グループについて実施します。 | 競技全体の進行アウンスは競技部会長が行う。表-1に記載の進行担当が各グループ毎の司会を進める。チームの载荷準備状況の確認と载荷開始の号令。载荷競技終了など。 | 载荷状況の口頭での説明、審判教員の指示に従ってチームに载荷を指示する。载荷記録を審判教員が確認する。 | チームリーダーの説明状況や载荷状況、計測状況などを無理のない範囲でライブ撮影する。 | 载荷競技中は原則 音声：ミュート ビデオ：OFF |
| 12:30 14:00 | 昼食休憩 | | | | |

< 载荷競技载荷時の留意事項 >

- ・ 载荷時の進行は、審判（教員）の指示に従ってください。
- ・ Zoom 参加時の中継環境については各大学で柔軟に対応してください。
- ・ 各参加チームが複数のデバイスで同じ場所から Zoom 接続する場合マイクトラブルを避けるため **1台のデバイスのみマイク ON** としてください。
- ・ 架設の記録が確定した後に、審判は HP のリンクから「载荷競技（変位記録）」を入力してください。
- ・ 1つのグループの载荷競技が大幅に遅延する時は、チーム関係者は「ブレイクアウトルーム」に移動していただく可能性があります。
- ・ 9月2日は Zoom を 9:30 ごろからオープンしますので、開会式までに接続チェックを行ってください。

【9月2日（木）14：00～】オンライン大会1日目（午後）

- ✓ 午前中の接続状態を維持します。
- ✓ プレゼン説明の後、表-1のAからEを5つのブレイクアウトルームに分かれて、5グループそれぞれ同時にプレゼン審査を行います。
- ✓ プレゼンテーション完了後、チームリーダーは美観に関する投票を下記 **Google Form** に入力してください。

【Zoom 会議】 ミーティング ID とパスコード: セキュリティの関係によりメールで連絡します

| 時刻 | プレゼンテーション | Zoom 参加デバイスと基本設定 | | | |
|-------|---|----------------------------|--------------------------|--------------------------|-----------------------|
| | | 運営 | 審査員 | チームリーダー (発表担当者) | 一般参加者 |
| 14：00 | プレゼン方法の説明（競技部会 渡辺先生） | 音声：ON ビデオ：ON | 音声：OFF ビデオ：OFF | 音声：ミュート ビデオ：OFF | 音声：ミュート ビデオ：OFF |
| 14：10 | ブレイクアウトルームにより、表-1のA-Eのグループに分かれて審査します。グループ毎に1番から4番まで順にプレゼンテーションを行います。プレゼン時間は動画視聴5分、質疑3分とします。 | プレゼン進行 音声：ON ビデオ：OFF | 質疑・応答 音声：ON ビデオ：ON | 質疑・応答 音声：ON ビデオ：ON | 音声：ミュート ビデオ：ON/OFF |
| 15：00 | 全チームのプレゼンが終わったら終了 | | | | |

<プレゼンテーションの留意事項>

- ・各ブレイクアウトルームにおいて、進行は座長の指示に従ってください。各プレゼン時、座長は事前収録のチームプレゼンテーション動画（5分）を「共有」します。その後、各チームの発表担当者と審査員からの質疑に回答してください。1チームあたりのプレゼンと質疑応答は5分+3分=8分とします。
- ・チームリーダーおよび審査員は、HPのリンクからプレゼン審査結果の記録を入力してください。
- ・チームリーダーと教員・実行員会関係者は、上記と同様にHPのリンクから、美観投票を入力してください。

【9月3日（金）9：00～】オンライン大会2日目

- ✓ 大会1日目と同様にZoom接続します。
- ✓ 午前中は学生主体で参加チーム毎のチーム紹介を行います。紹介の方法は自由ですが、チームリーダーのデバイスを通じて、紹介を行ってください。詳細は8/25のキャンパスミーティング時に調整予定です。
- ✓ 実行委員会関係者は、競技結果の審議を行います。

【Zoom会議】ミーティングIDとパスコード：セキュリティの関係によりメールで連絡します

| 時刻 | チーム紹介・特別講演・表彰（閉会式） | Zoom参加デバイスと基本設定 | | | |
|----------------|---|----------------------------|-----------------------------|--------------------------|--------------------|
| | | 運営 | チームリーダー | 一般参加者 | 聴講者 |
| 9:00 | 学生主体での各チーム（大学）紹介（各10分） 進行：岡田美咲さん（名工大・修士1年） 審判団は競技結果の集計と内容確認 | 審査結果の審議 音声：ON ビデオ：ON | チーム紹介 音声：ミュート ビデオ：OFF | 視聴 音声：ミュート ビデオ：OFF | |
| 12:00 13:00 | 昼食休憩 | | | | |
| 13:00 | 鉄連／橋建によるご講演 日本鉄鋼連盟橋梁用鋼材研究会 鋼橋技術・普及WG委員 JFEスチール 栗原康行様 日本橋梁建設協会保全委員会幹事長 駒井ハルテック 本間順様 | | | | 音声：ミュート ビデオ：OFF |
| 14:00 | 表彰式／閉会式 司会進行：名古屋工業大学 永田和寿先生 大会講評（表彰のプレゼンター兼ねる） JSBC2021 実行委員会委員長, 東海構造 研究グループ（SGST）代表 愛知工業大学 鈴木森晶先生 結果発表・表彰（進行：ルール統括部会部会長 福 | 音声：ON ビデオ：ON | 音声：ミュート ビデオ：OFF | 音声：ミュート ビデオ：OFF | |

| 時刻 | チーム紹介・特別講演・表彰（閉会式） | Zoom 参加デバイスと基本設定 | | | |
|----|---|------------------|---------|-------|-----|
| | | 運営 | チームリーダー | 一般参加者 | 聴講者 |
| | 井大学 鈴木啓悟先生) 後援者ご講評 日本橋梁建設協会中部事務所所長 日本車輛製造 保坂治様 次回開催校教員挨拶 ●●大学●●先生 閉会の挨拶 JSBC2021 実行委員会副委員長 名城大学 渡辺孝一先生 | | | | |

<チーム紹介時の留意事項>

- ・表-1の順序で各チーム紹介をオンラインで行っていただきます。進行役などは、キャプテンミーティング時に調整します。

3. 運営組織メンバー、審査委員、ご講演者、ご挨拶、ご後援

【JSBC2021 運営組織】

実行委員会（当該年度大会の実行を統括します）

| | | |
|------|---------|---------|
| 委員長 | 鈴木 森 晶 | 愛知工業大学 |
| 副委員長 | 渡 辺 孝 一 | 名城大学 |
| 委員 | 小 室 雅 人 | 室蘭工業大学 |
| 委員 | 大 垣 賀津雄 | ものづくり大学 |
| 委員 | 木 下 幸 治 | 岐阜大学 |
| 委員 | 北 根 安 雄 | 京都大学 |
| 委員 | 梶 田 幸 秀 | 九州大学 |
| 委員 | 永 田 和 寿 | 名古屋工業大学 |

総務部会（大会の連絡体制を統括します）

| | | |
|------|---------|------------|
| 部会長 | 松 村 政 秀 | 熊本大学 |
| 副部会長 | 清 水 優 | 名古屋大学 |
| 委員 | 橋 本 国太郎 | 神戸大学 |
| 委員 | 宮 地 一 裕 | 岐阜大学 |
| 委員 | 名木野 晴 暢 | 大分工業高等専門学校 |

ルール統括部会（大会のルールを検討・統括します）

| | | |
|------|---------|--------|
| 部会長 | 鈴木 啓 悟 | 福井大学 |
| 副部会長 | 谷 口 望 | 日本大学 |
| 委員 | 清 水 優 | 名古屋大学 |
| 委員 | 渡 辺 孝 一 | 名城大学 |
| 委員 | 林 巖 | 大阪市立大学 |

備品等統括部会（大会の備品管理および会場設営を統括します）

| | | |
|------|---------|--------|
| 部会長 | 宗 本 理 | 愛知工業大学 |
| 副部会長 | 嶋 口 儀 之 | 愛知工業大学 |
| 委員 | 宮 地 一 裕 | 岐阜大学 |
| 委員 | 谷 口 望 | 日本大学 |

広報部会（大会の広報活動を統括します）

| | | |
|------|---------|---------|
| 部会長 | 竹 谷 晃 一 | 東京工業大学 |
| 副部会長 | 宗 本 理 | 愛知工業大学 |
| 委員 | 森 山 仁 志 | 熊本大学 |
| 委員 | 木 下 幸 治 | 岐阜大学 |
| 委員 | 大 垣 賀津雄 | ものづくり大学 |

競技部会（JSBC2021 大会の競技を統括します）

部会長 渡辺孝一 名城大学
副部会長 北根安雄 京都大学
副部会長 大垣賀津雄 ものつくり大学
委員 鈴木啓悟 福井大学
委員 木下幸治 岐阜大学
委員 竹谷晃一 東京工業大学

運営委員会

（完全オンラインで実施するため、立ち上げていません）

【審査員】

栗原康行様 日本鉄鋼連盟 橋梁用鋼材研究会 鋼橋技術・普及WG 委員
松原秀和様 日本鉄鋼連盟 土木委員会幹事会 幹事
北村明彦様 日本橋梁建設協会 技術・調査部 部長
大野豊繁様 日本橋梁建設協会 近畿事務所 統括部長
飯田哲也様 東海構造研究グループ（SGST） 幹事長

【ご講演者】

栗原康行様 日本鉄鋼連盟 橋梁用鋼材研究会 鋼橋技術・普及WG 委員
本間順様 日本橋梁建設協会 保全委員会 幹事長

【ご挨拶】

松原秀和様 日本鉄鋼連盟 土木委員会幹事会 幹事
保坂治様 日本橋梁建設協会 中部事務所 所長

【ご後援】

一般社団法人 日本鉄鋼連盟，東海構造研究グループ（SGST），一般社団法人 日本橋梁建設協会